

福島県に視察に行ってきました。港湾の復旧状況・除染現場・農業センターでの放射能検査等を調査してきました。



復旧中の小名浜港。クレーンの先端部は津波で欠損。復旧工事が急がれています。



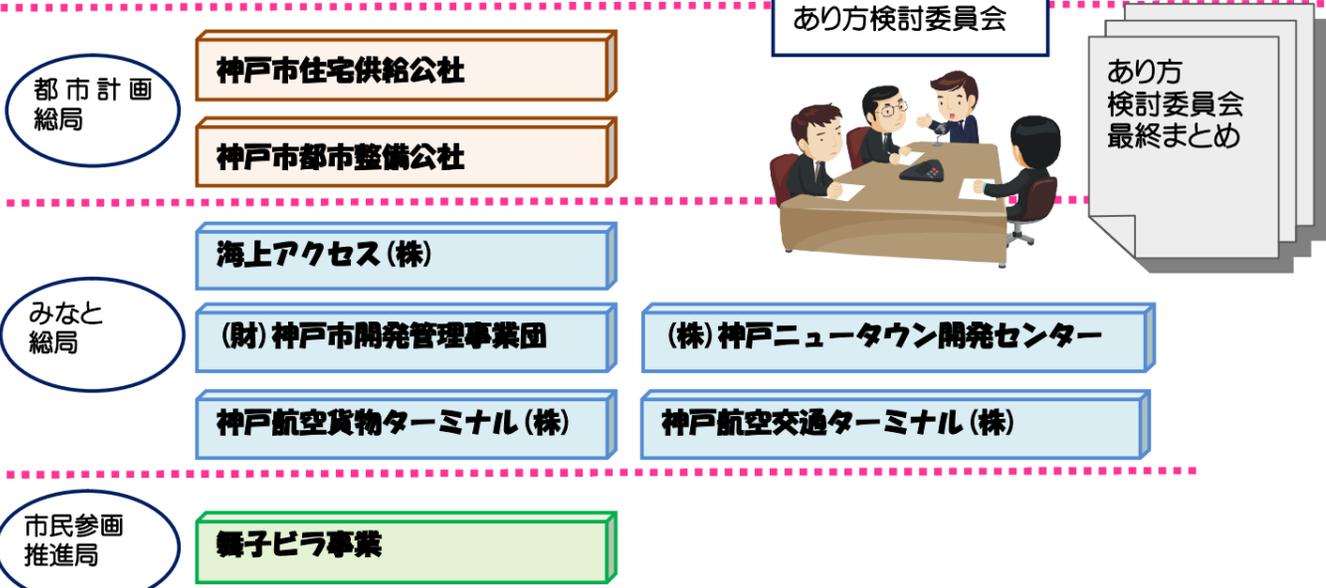
農業総合センターでは、ゲルマニウム半導体放射線検出器を10台導入し、農作物等の放射線検査を実施。

除染済み土壌の仮置き場

## ～外郭団体の見直しについて～

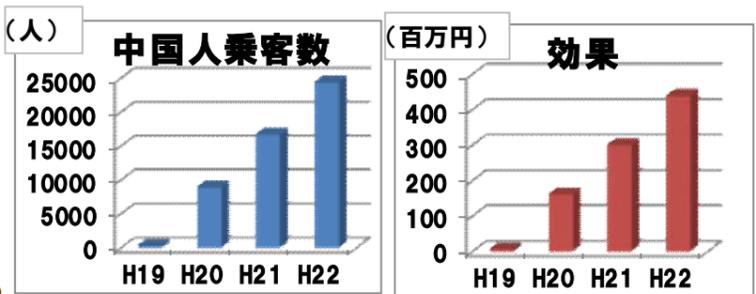
今回の定例市会では、外郭団体の大幅な見直しが方向づけられました。議会には、債権放棄の議案が提出され、**附帯決議付き**で予算案を承認しています。外郭団体はいろいろと見直しが行われていますが、債務の大きい3団体について、できるだけわかりやすく、を心掛けて皆さんに説明したいと思います。

下記の外郭団体は、「**神戸市外郭団体経営検討委員会**」の提言を受けて、H23年度、各担当局が設置した、外部の専門家による「**あり方検討委員会**」の中で、実施事業や法律・税務上の問題点などについての検討が進められ、提言が提出されました。



### ベイシャトルの現在の状況

多くの外国人観光客は、関空到着後、大阪～京都～名古屋～富士山～東京といった、観光ルートで旅行します。ベイシャトルを旅行商品に加えることで、神戸を訪れる中国人観光客が大幅に増えました。また、H23年度はほぼ目標の乗客数を達成できました。



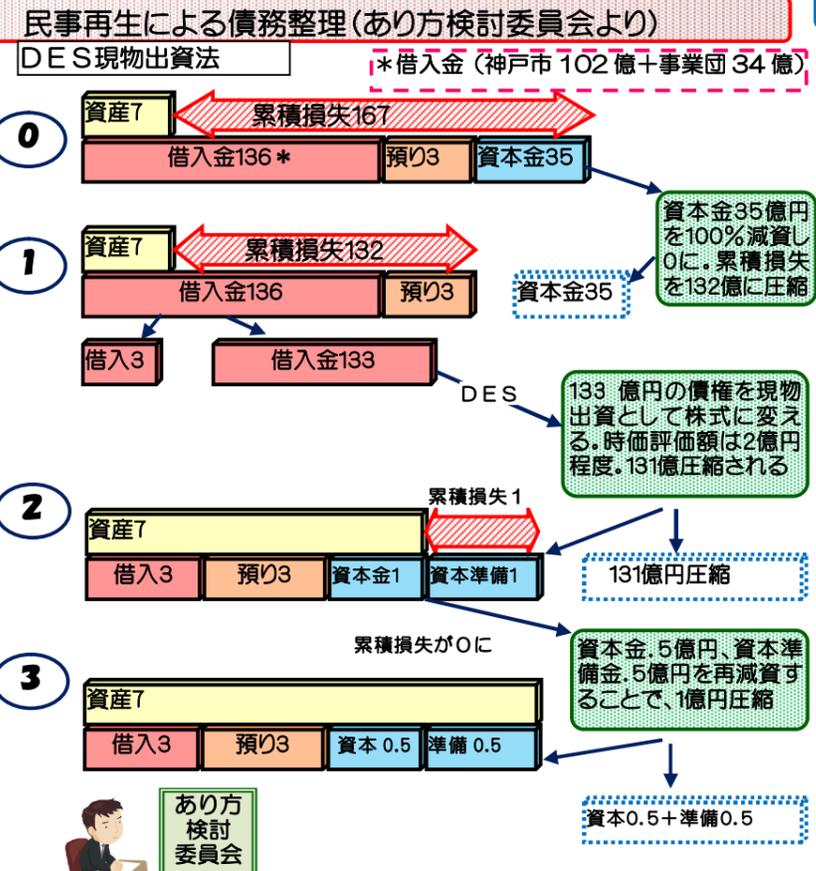
\*効果は、外国人旅行者の消費額ひとりの平均17,979円を用いて計算

## みなと総局外郭団体について

みなと総局外郭団体5団体についての財務状況と、あり方委員会の意見結果です。

外郭団体名	H22 損益計算書(百万円)		H22 貸借対照表(百万円)		事業について	委員会の意見
	営業収益/当期損益		資産合計/負債合計/純資産			
(財)神戸市開発管理事業団	6011/ 94		30857/18832/ 12024		医療産業都市のビルやロジスティックパークを管理運営	収益事業をニュータウン開発センターと経営統合する
(株)ニュータウン開発センター	5900/ 821		29286/23249/ 6037		ブレンティ、須磨パティオなどのビルを管理運営	開発管理事業団と経営統合する
神戸航空貨物ターミナル(株)	422/ 43		571/ 492/ 79		航空貨物事業(小口の輸出入品の混載貨物)	必要な事業であり、継続。上屋の有効活用などが必要。
神戸航空交通ターミナル(株)	0/ -5		59/ 728/ -668		休業中(K-CAT時代の船と街をつなぐバス)	解散し、特別清算
海上アクセス(株)	977/ 6		708/ 13861/ -13152		ベイシャトルを運航中。(かつてはK-JETを運航)	民事再生手続きによる債権整理(DES現物出資法*)

海上アクセス(株)について、これまでの経緯や、民事再生の方法、現在の状況を説明します。



あり方検討委員会

海上アクセスは、神戸市からの計画的な補助金削減に関わらず、**2年連続の黒字達成**となった。運賃値上げを行ったが、影響は出ないとみられ、**補助金なしの黒字達成の道が見えつつある**。関空の外国人観光客は増加しており、今後もLCCなどにより更に増加が見込まれる。ベイシャトルの存在が、国際港湾都市という優位性を持つ神戸を、訪日観光地に組み入れる旅行商品の造成を可能にしている。

### これまでの経緯

1994年9月 K-JET就航 2隻+備船2隻 66便

**神戸ジェットシャトル(K-JET)**

- 165トン/230人乗り
- 速力 45ノット
- 時間 25分
- 27億円/隻
- 燃料840ℓ/便

1995年1月 阪神淡路大震災発生

震災後、陸上の交通輸送が混雑する中、天保山との間で一時的に運航し、貴重なルートに。

1996年7月 3隻体制に 52便

1997年12月 2隻体制に 48便

2001年11月 2隻体制 38便

2002年2月 運航休止

2005年3月 再開の予算案 附帯決議付け承認

2006年7月 ベイシャトル就航 2隻+1隻(予備)

**神戸-関空ベイシャトル**

- 84トン/110人乗り
- 速力 31ノット
- 時間 31分
- 4億円/隻
- 燃料190ℓ/便

初期投資、経費を抑える小型の船舶を採用。期間中、駐車場無料サービスも開始。

2012年4月現在 H23年度乗客目標人数ほぼ達成